

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 2 月 17 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673300077
法人名	有限会社あおぞら
事業所名	グループホームあおぞら
所在地	鹿児島県日置市日吉町日置478番地 (電話) 099-292-2034
自己評価作成日	令和5年1月17日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和5年2月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅地の中にあり、緑も多くまた車の交通量も少なく安心してゆっくり生活を送れる環境です。
地域行事も比較的多い地域で、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となったイベントもありましたが、今年は妙円寺参り等開催された行事もあり、子供たちの武者姿を見ることが出来たりと、少しずつ通常の生活に戻りつつあります。また施設内イベントの工夫を行い利用者の皆様に楽しんで頂けるよう努めております。
あおぞら農園では季節の野菜作りや収穫を楽しんで頂けるよう支援しております。介護につきまして、利用者様の一人ひとりの身体状況や認知症の進行状況の把握を行い、適切な支援が提供できるように努めております。
新型コロナウイルス感染症対策については、定期的な換気や消毒の徹底。施設に持ち込まないように職員の普段の生活について指導行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、日置市の中心から車で約15分の場所に位置し、国道270号線から少し東側に入った、自然豊かな地域に建てられている。近くには市役所支所・小学校・金融機関・病院・商店街等があり、海岸も近く、自然環境を活かした支援に取り組んでいる。
利用者の意向や希望に合わせて、明るく健康で安心して生活を送れることを目指して理念を掲げ、”叱らず、怒らず、忙しい時も笑顔でケアしたい”という「介護スタッフの心構え三原則」と共に理念を毎日唱和し、職員間の意識付けを図っている。近年、利用者と家族との関係が薄くなりがちであり、寂しさや孤独等の気持ちを和らげるような支援を意識し、必要な場合には看取りまで可能な限りホームで支援できるように、利用者の気持ちを大切にしている。
現在はコロナ禍のために外出を自粛しているが、地域との交流や馴染みの関係維持のために近隣の散歩・しめなわ作り・自宅や海や花見のためのドライブ・初詣等、できるだけ外出できるように支援している。ホームの菜園は土壌改良中で、現在は作物を育てていないが、今後は復活させる予定である。ホーム内では弁論大会の場を設け、利用者自身のこれまでの人生について話すことにより、本人も傍聴する他の利用者も感動して貴重な時間を共有でき、職員を含めて利用者間の距離が縮まり、絆が深まっているように感じられる。職員は利用者へのペースに合わせて、無理強いすることなく、ゆったりと寄り添う介護に努めている。

ひまわり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝ある朝礼時理念を唱和して共有している。	理念を玄関・事務室・ホールに掲示し、「介護スタッフの心構え三原則」と共に毎日朝礼で唱和して職員の意識向上に努めている。管理者は日頃から職員への声かけを積極的に行い、年1回の労働契約更新時に理念に沿った支援が実践できているか確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ渦の前は、地域行事にも参加していたが、現状は難しい状況。	コロナ禍のために自治会活動への参加やボランティアの受入れは行われていないが、地域の奉仕作業に参加し、近隣への散歩時の挨拶・2か月毎の訪問美容・妙円寺参りの武者の訪問・農家からの野菜の差し入れや購入等を通して、地域との交流を図っている。民生委員から地域の情報をもらい、ホームについて地域の理解を深められるように取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	コロナ渦の前は、小学生との交流などの活動が実施できたが、現在は難しい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ渦の為、2か月に1回近況報告を手紙にし地域等に報告している。	会議は現在、地域代表・民生委員・家族代表(交替で出席)・市役所支所の職員等に2か月毎に書面を配布して報告している。書面にはホームの近況報告や参加者からの意見・要望等について記載しているが、ヒヤリハットの場合は書面で伝えることが難しく、できるだけ会議を開催できるように今後は努めていきたいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市へ文章での報告や社協との連携、月1回民生委員の訪問等で協力関係を築いている。</p>	<p>市役所本所の担当者とは、ホームの運営やケアに関する相談・各種制度の手続き・生活保護受給者や社協による金銭管理に関する連携等、日頃から協力関係を築いている。市主催の研修会やグループホーム協議会の研修会等にもリモートで参加し、意見や情報の交換を行って、サービスの向上に繋がるように努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束については職員間でも事あることに話題にしている。</p>	<p>「事故・身体拘束廃止マニュアル」や「身体拘束適正化に関する指針」を整備し、事例に基づく検討を中心とする身体拘束廃止委員会を年4回開催して、職員の意識を深めている。指針や議事録は事務室に置き、誰でも閲覧できるように工夫し、職員本位のケアとならないように尊厳と尊重の気持ちで接することを大切に支援している。日中玄関の施錠は行わず、利用者の見守りや寄り添いに努め、自由な暮らしへの支援に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>入浴時など観察シアザ等を発見した時は職員間で、原因の追究を行っている。勉強会もある。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会に参加し伝達講習を行っている。研修資料の共有。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	受け入れ時、管理者・計画作成担当者が説明を行い納得した上で契約を結んでいる		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の会話や面会時、電話等で要望を聴いている。	利用者の思いは日頃の会話や表情・仕草等から把握に努め、うまく伝えられない利用者の場合は生活歴を中心に把握している。家族の意見や要望等は面会・利用料金の支払い時や電話等により把握し、イベント・季節の行事に併せて発行される園便りや職員を通して日頃の様子を伝えることで、気軽に話してもらえるように努めている。現在家族会は活動休止しているが、出された意見等はミーティング等で共有し、ケアに反映できるように取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	話しかけやすい環境を作り職員の声を聴くようにしている。	管理者を中心に職員間のコミュニケーションが密に図られ、気軽に意見等を話せる関係が構築されており、職員の年齢層も上がってきているが、互いにサポートしあって働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。資格取得のための研修費用や勤務体制に対する配慮・資格手当の導入・有休取得できるように勤務シフトを調整する等の工夫がなされ、職員の意欲向上に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	上記に加え、意見を反映したり（業務状況の配慮）故障個所の対応を早めに行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修への参加を促しており、業務中での気づいた点の指導を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ渦の為行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>食事やお茶、入浴時の時間など好きな話題で会話を広げ対応している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会や支払い時等に、近況を話し困っている事、不安な事などがあれば、その都度対応し関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族からの情報や情報提供書から収集し、アセスメントをし対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>会話を大切にし、会話の中からのしたい事等を聴き対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に家族に本人の状況を電話で報告し、面会や電話で本人と家族の関係が壊れないように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ケースは少ないが、昔一緒に働いていた方の面会等あり、関係が途切れてはいない。	入居時の聞き取りや家族・ケアマネジャー等から利用者の馴染みに関する情報を職員間で共有している。家族との面会はクリアシートや網戸を通して短時間で行われているがいつでも面会でき、電話・手紙の取り次ぎや代読・自宅の近くまでのドライブ・美容室へのお出かけ等、これまでの関係性を大切にする支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い方同士を一緒にしたり、全員で集まる際はスタッフが中に入り、コミュニケーションが摂れる環境を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話等で謙譲の状況を聴いたり、訪問された際に話を聴いたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中で本人の希望を聞き取りをしている。困難な場合は、行動や生活歴からのくみ取りや家族からの聞き取りを行いケアプランに反映している。	日頃の生活の中から喜ぶ表情等を通して利用者の望むことは把握できており、家族の意向も大切に考え、本人の思いに寄り添う支援に努めている。職員間でも生活歴や望むことを汲み取り、本人の意向に沿ってできることに対して個別に支援し、生きがいのある暮らしとなるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時はもちろんの事、普段の会話の中で聞き取ったり家族からも聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	10時、15時のバイタルチェックで状況把握や早期異常発見に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状況に変化や問題が発生したときは、カンファレンスを行い本人、家族、スタッフの意見を聞き介護計画を作成している。	利用者が入居時にできていたことが継続してできるような支援を目指して、家族にも協力をもらいながら、利用者本位の介護計画を半年毎に作成している。モニタリングは職員の意見を反映させて毎月実施し、入退院や心身の状態変化等に応じて計画の見直しや修正等も行い、申し送りや介護記録等で実施状況を確認して情報共有に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活の中で、心身の状態など個人の介護記録に記入している。特変や共有すべき連絡事項は申し送りノートを利用し情報共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じて検討（スタッフ間、家族との話し合い）し取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を文えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ渦の為地域資源の活用はできていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人が通院していた病院や家族が希望した病院に定期受診（往診）をお願いしている。</p>	<p>協力医療機関だけでなく、本人や家族が希望する医療機関での受診・訪問診療・訪問歯科診療を支援している。ホームに看護師が勤務しており、介護も行いながら利用者の健康チェック・関係機関との連絡調整・健康相談等を行っている。看取りの状態になった場合は、協力医療機関の医師をかかりつけ医に変更し、24時間連携体制が構築されている。皮膚科・眼科等の専門科受診には職員が付き添い、結果は職員や家族と共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師と情報共有し定期的に受診や往診、訪看を受け入れ、適切な医療を受けれるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時のサマリーを利用しての情報共有や定期的に相談員と連絡を取り合い、早期退院できるように取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>急変時の対応の仕方や終末期の支援について事前に家族と話し合いを行い、ケアの方向性を定めている。</p>	<p>「重度化対応に関する指針」と「看取り指針」を整備し、ホームでの看取りを実施している。入居時に看取り介護についての同意書の説明を行い、同意を得て本人・家族の思いを汲み取り、職員が一体となって適切な支援に努めている。看取りに対する研修を実施して職員のスキルアップを図り、看取り終了後は職員への聞き取りを中心に振り返りを行い、不安の軽減を図りながらより良い体制づくりに取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時はかかりつけ医へ連絡し支持を受けている。また報告の手順をスタッフ間で共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に訓練を行い有事に対応できるようにしている。</p>	<p>「防災及び非常災害時対応マニュアル」において、火災・地震・風水害・津波の対応について位置付け、消防署立ち会いを含めて年2回、火災を中心とした災害訓練を実施し、風水害と火災については自主訓練を2回実施している。現在、地域の協力はコロナ禍のため得られないが、火災が発生した場合には自治会長に連絡が届き、地域放送が流れるような体制が整備されている。備蓄は水・米・缶詰・レトルト食品・缶入りパン等を3日分程準備し、カセットコンロ・懐中電灯・ラジオ等も用意して、防災対策に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の性格やプライベート空間、他の利用者との交流状態などその人のプライドを損ねないようにし、その人らしさを大事にしている。	ホームにおいて権利擁護の研修を年1回実施し、利用者の尊厳やプライバシーを損ねるような言葉かけや対応の防止に努めている。入浴・排泄等では職員が介助のために一緒にいることが多いが、声かけのタイミングやその場に応じた声かけ・異性介助等に配慮し、慌てずゆったりとした気持ちで接するように心がけて支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に寄り添い傾聴し、声掛けや見守りで対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の要望に沿ってその都度対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴時や病院受診時の為の外出時に本人と一緒に衣類を選んでおしゃれを楽しんでもらえるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	会話の中から好きなものを聞き取り、食事のメニューに取り入れられたり、下膳を一緒にしている。	利用者毎の好み・形態・栄養バランス等に配慮し、地域からの差し入れや直接購入できる地元農産物も活用しながら各ユニットで主菜と副菜に分けて調理している。食事介助が必要な利用者もなく、食材の下ごしらえ・包丁での皮むき・後片付け・テーブル拭き等を一緒に行い、花見弁当や行事食・手作りおやつ・梅干しやラッキョウ漬け作り等、楽しみに繋がる支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量のチェック表を作り一人一人の状態の把握をに対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝昼夕食後本人に声掛け、実施してもらい磨き残しはスタッフが介助している。週1回義歯洗浄を行う。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	レベル低下によりオムツを使用せざる得ない方はいらっしゃるが、その他の方は、定期的に声掛け行いトイレでの排泄支援を行っている。	バイタルチェック表の活用や利用者毎の身体状況・意向等の把握に努め、日中は声かけや見守り等により、可能な限りトイレでの排泄を支援している。夜間帯もトイレでの排泄希望者があり、職員に合図を送る際にはマラカスを鳴らす等、工夫している。便秘の予防については、食生活面の配慮だけでなく、体操・散歩・屋内歩行等の運動も実施し、改善に向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日に水分摂取量の把握と、排泄管理を行い、頓服の下剤、座薬を使用し個々に調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回と定めているが、本人が拒否した場合や体調に変化が見られる場合は無理に行わない。しかし、本人が希望される場合は入浴日でなくとも入れるように対応している。	利用者のこれまでの生活習慣や意向に沿って、週3回の個浴を楽しんでもらっているが、排泄の失敗等の場合にはシャワー浴や清拭等で柔軟に対応している。異性介助も問題なく、入浴剤は使用せず、シャンプーや石鹸等は共用と個人用の双方とも可能である。入浴後は保湿剤塗布や水分補給を行い、健康状態に十分配慮した支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や状態、生活スタイル等考慮し、本人のペースに合わせて休息している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎食後職員が管理し服薬している。変更などあった場合は申し送りノートを活用している。また、利用者より何の薬か聞かれた際、答えられるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レベル低下によりレクリエーションや楽しみ事等に限界が見られる。その中から出来る物を選び行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の為外出の頻度は減ったが、園庭の散歩やドライブを行っている。	現在、外出はコロナ禍のために制限されているが、近隣の散歩・しめなわ作り・ドライブ・初詣等に出かけられるように支援している。ホームで過ごす時間が長くなっているため、弁論大会・カラオケ大会・作品作り・脳トレ・ビデオ鑑賞等を楽しんでおり、今後は菜園を復活させて農作物が作れるような環境作りを予定している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>コロナ渦や本人のレベル低下の為、現在行えていない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望する場合は家族への連絡の取次ぎを行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やフロアに季節を感じれるもの（花や装飾）を飾るなどして心地よい空間作りをしている。湿度、温度管理も行っている。</p>	<p>利用者の多くは日中起きてホールで過ごすことが多く、天窓のある明るく広いホールにはテーブル・ソファ・テレビ等が利用者の動線を考慮して配置され、時計・カレンダー・今年の抱負・写真・季節感のある活花等が飾られている。ホールには空気清浄機が設置され、毎日3回は換気や消毒を行い、清掃も行き届いて台所からは調理の音や匂いを感じられ、家庭的な雰囲気の中でゆっくりとくつろげる環境となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った利用者同士が近くに座り会話を楽しまれたり、居室にてラジオを聴いたりと自由に過ごせる環境を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と話をし本人が使っていた物や写真を持ってきてもらい、過ごしやすい空間を作っている。</p>	<p>居室はフローリングの床で、腰高窓があり明るく、利用者のペースで快適に過ごせるように配慮されている。ベッド・エアコン・タンスが備えられ、寝具・布団の持ち込みも可能となっている。利用者は使い慣れた箸・スプーン・コップ等の食器やラジオ・扇風機・写真・ぬいぐるみ等を自由に持ち込み、家庭同様に落ち着いて憩える暮らしとなるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>毎朝掃除や消毒を行い、環境整備をしているが、レベル低下があり一緒にすることができない。危険なものを取り除いたり、破損個所の修理など行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		0	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	0	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		0	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		0	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	0	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	0	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	0	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	0	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	0	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		0	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		0	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		0	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない